



東京コミコンに行ってきました。

1970年、サンディエゴで生まれたコミコン。コミコンとは「コミックコンベンション」の略語で今は正式名称としてコミコンと呼ばれています。アメリカのみならず、フランス・イギリス・台湾と年々規模や地域も拡大していて、内容も単なるオタクの発表の場ではなく、ハリウッド映画や新作ゲームの発表なども行われています。

そのコミコンが、2016年12月2~4日に、日本で初めて開催されました。その名も東京コミコン(※場所は千葉県幕張メッセなんですけど、よくあるパターンのやつね)。寒空の下、杉本あゆみ・杉本真一・清水亜弓の3名で参加してきました。

今回のスペシャルゲストとして、アメリカから「アベンジャーズ」のホークアイ役で有名なジェレミー・レナー、「エイリアン」のビショップ役のランス・ヘリクセンなどのハリウッド俳優、さらにアメコミ原作者のスタン・リーらが来日。彼らによるサイン会・撮影会も行われました。また、映画で実際に使われたバットマンのスーツ、ターミネーターT-800の展示、12月に公開になった「バイオハザード:ザ・ファイナル」で使用された小道具、懐かしいところではバクトウザーフューチャーのデロリアン、ナイトライダーのナイト2000(これはレプリカか?)の展示もありました。

アメコミでも活躍する日本人作家を始め、海外からも多くのアーティストがブースを出しており、作品の即売、サイン会も行われており、どこもファンの行列ができていて賑わっていました。

アメコミでも活躍する日本人作家を始め、海外からも多くのアーティストがブースを出しており、作品の即売、サイン会も行われており、どこもファンの行列ができていて賑わっていました。



株式会社千住工房
東京都足立区南花畑 3-35-1
グリーンパーク花畑 V1-507
電話 (03) 3859-2720

お問い合わせは

info@senjukobo.co.jp
www.senjukobo.co.jp



www.facebook.com/senjukobo.co.jp



@senjukobo



アメリカ支部だより



サンフランシスコベイエリアは冬になってからは結構雨が降っております。

カリフォルニアはここ数年干ばつということになっていますが、その終わりの兆しと思いたい所です。この州はただでさえ乾燥しているのに勘弁してもらいたい。

そこかしこも冬らしくなっており、お店もクリスマス商品だらけ。アメリカらしいネタと言えば、スタバではターキー&スタッフリング(七面鳥と詰め物、感謝祭の定番料理)のサンドイッチを季節限定で出していました。感謝祭休みの間は友人などに会って回っており、ターキーの残り物が高確率で出されてお腹いっぱいになって帰って来たので、このサンドイッチには「ここでも

かっ」と思わせられました。しかし好きな料理なので結局お持ち帰り。うちは田舎なのでスタバに行くにも車移動。帰り道が混んでいて、なにかと思えば高速の仕切り壁にトラックが乗り上げて大変なことになっていました。急に雨が降り出したので事故が増えるのもしかたないですが、荒っぽい運転をしている人達を毎日のように見ているとまあそうなるでしょ...と思ってしまふ。久しく会った友人に自分の運転が荒っぽくなってると言われ、知らぬうちに感化されてるのかと気づき軽いショックを受けましたね。

えー、皆さんは気を付けて運転をして、無事年末を乗り越えてくださいな。

文とイラスト・Taro Brommer



アイスクリームのお店
あおぞら



広告

足立区六町 4-5-38
Tel.03-5856-4458

SENJU KOBO GALLERY



▲「箱庭」

箱庭の絵が描きたくなったのとクリスマスが近かったので、こんな絵を描いてみました。サンタがずり落ちているところがポイントです。

イラスト: 藤野健

▼「顔って難しい!」

今回は苦手な「人の顔」を描いてみました。もはやラクガキなので技術的に言えることは無いですが!!とにかく描いてみたらこれが出来ました!!

イラスト: 杉本明聡



にわか映画談義 Unexpected Movie Impressions

今回は「スティング」を見ました。

1973年のアメリカ映画で、詐欺師の男が仲間を殺したギャングに復讐するため、すっかり落ちぶれてしまっていた伝説の詐欺師と組んで、イカサマで復讐するという内容です。この頃のアメリカ映画は大好きです。

最初はなかなか関係性が分かりませんでしたが、気づけばどっぷり見入りました。最初から最後まで緊張感があって一

瞬も目が話せませんでした。敵を欺くためいろいろ仕掛けをしていくのですが、正直、ここまでうまくいかないだろうか?と思いつつも、淡々と進んでいき実に痛快です。伏線がありすぎて何回も見直しましたが、何度見ても飽きない魅力があります。またこんなに緊迫した内容なのに、昔からよく聞きなじみのあるのどかなテーマ曲が緊張感をほぐしてくれます。

そして最後の展開は全く予想もつかず、

すっかりだまされました。見た事のない人は是非見て欲しい作品です。だまされたと言えば、『真田十勇士』の最後も全く予想しない展開でしたね。

長らく続けてきたこの「にわか映画談義」は今回で最終回になります。文章書くのが大変で...でも映画はこれからもライフワークとして見続けていきたいです。次回からの企画は、まだ思案中です。

文とイラスト・渡辺紳

